

平成27年度「海の作文コンクール」入賞作品

金賞（国土交通省神戸運輸監理部長賞） 1点

「きれいな海を守りたい」

神戸市立 御影北小学校 5年 中江 優来

去年家族で沖縄へ旅行に行きました。その時に海を見て、今まで見た海の中で一番きれいだと思いました。浜辺近くの海は青色で、沖に行くほどエメラルドグリーンになり、白い砂浜もとてもきれいで感動しました。また、この海を見たいと思いました。

そして神戸に帰ってきていつも読んでいる子ども新聞の特集を見たときです。沖縄の海の底に白いサンゴが広がっている様子が載っていました。そのサンゴは高い水温のせいで弱り、「白化現象」がおこったサンゴの写真でした。さらに、今後、海の酸性化の影響も加わると、日本のサンゴは、全滅してしまうおそれがある。と予測をする研究者もいると書いてあり、悲しくなりました。

そこで、どうして海の水温が上がってきているのかを調べてみました。

私たちが日ごろ使っている電気やガスをつくることで、多くのCO₂が放出されて大気中にたまります。車から出るガソリンの排気ガスにも、たくさんのCO₂が含まれています。

このCO₂には、太陽から届いた熱を蓄えやすくして、地球を温める性質があります。そして気温が上がるのです。このことを「地球温暖化」といいます。温暖化の影響は、すでに海の生き物に表れています。たとえば、これまではめずらしかった南の魚がより北の海で見られるようになっていたりしているそうです。

さらに、海の酸性化について調べてみました。人間活動によって大気中に放出されるCO₂の4分の1は、海が吸収し、水に溶けると酸として働くのです。大気中のCO₂が増え、海にとける量も増えることで、海の酸性化が進んでいくのです。海の酸性化はサンゴだけでなく、貝類やエビなどの海の生き物に悪い影響を与えてしまうそうです。

では、このCO₂を増やさないために私達にできることを考えてみました。

すぐに思い浮かんだのは電気を使いすぎないことと、車から出る排気ガスを減らせばいいのではないかということです。例えば、照明や電源をこまめに切る、テレビはダラダラ見ないで時間を決めて、おわったらすぐに消す、エアコンの設定温度を考える、冷ぞう庫をあけっぱなしにしない、お風呂のおいだきをしなくてもいいよう、家族で決まった時間に入る、などです。

また、排気ガスは車から出るものなので近い所は歩いていくことや、自転車を使って移動をしたり、公共の交通機関を利用するという事です。

人はそれぞれ生活環境がちがうので、できることやできないこともあると思いますが、それぞれが小さくても行動を重あわせていけば地球温暖化や海の酸性化が進むことをとめられるかもしれません。

私も家族で見た、きれいな海を守るために努力していきたいと思います。